

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 いきいきっ子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○活動内容によって部屋を分けられること。また、活動に集中が出来るように物を置いていないこと。	○集団療育で、季節の行事や年長児プログラムのような年齢別の療育をおこなっていること。	○保護者の方にアンケート等で協力していただき、地域交流をしていけるといい。
2	○定期的なモニタリングで、お子さんの支援方法の見直し、改善、保護者の困りに対応していけること。	○可能な限り、お子さん一人に対し職員が支援につき、丁寧なサポートができるようにしていること。	○色々な想定をした避難訓練の回数をもう少し増やしていく。
3	○一人ひとりに寄り添い、お子さんの様子に合わせて職員や環境を整え、個別や集団にて支援している。	○お子さんに必要な支援が出来るよう年長児、年長児未満のグループに分かれて活動を提供して。また、情報共有を行い、支援方法について検討する話し合いを随時おこなっている。	○支援時の状況を再度確認し、情報共有しながら支援方法について再度検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○長期休暇時は児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なる為、人材確保が難しい。	○長期休暇時の児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なり、一度に20名お預かりし、職員の人数配置は変わらない為、普段の支援より手薄になってしまう。	○人員調整としてボランティアやアルバイトをお願いし、安心安全な支援が行えるようにする。たくさんのボランティアが集まり、交流も兼ねて活動が出来るよう、募集を工夫していきたい。
2	○非常時の対応に関して保護者への周知方法の検討をしている。	○年度初めにお知らせしているが、直前のスケジュール掲示や連絡方法の再確認、意識づけが不足している。	○おたよりを通じて、非常時の対応等について周知し、保護者の方が確認できるようにしていく。
3			